

広 報 費

支払日	内 容	金 額 (円)	領収書No.
11/28	議会だより折込料 (2000枚)	10,560	①
11/28	議会だより折込料 (12/1)	36,960	②
12/2	議会だより印刷代 30,000枚	396,000	③
12/2	議会だより印刷代 振込手数料	110	③
12/5	議会だより折込料	1,600	④
12/12	議会だより折込料 (12/14)	49,104	⑤
12/15	議会だより折込料 (12/18)	1,161	⑥
	計	495,495 円	

合 計	495,495 円
-----	-----------

貼 付 欄 領収書 No.

領 収 証

日本共産党周南市議員団様 No. (1)

¥ 10,560

但 A-345 2,000円代金として

収入印紙

入金日 04年11月28日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

消費税額等(%)

SGR-1

〒745-0823 周南市周陽1丁目6番1
 合同会社 Media On Alive
 代表取締役 坂上 毅
 TEL 0834-29-0836
 FAX 0834-29-0837



領 収 証

No 019193

日本共産党周南市議員団様

令和4年11月28日

金額 336960

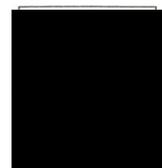
現金	✓
小切手	
振込	

但し 1/2代金として

上記の金額正に領収致しました

収入印紙

株式会社 毎日メディアサービス
 下関市一の宮卸本町2-3
 TEL (代) 083-229-5600



請求書



株式会社

3

745-0054
周南市西松原4-2-29

本社 山 三丁目9-15
64-1717
FAX (0834) 63-8381

日本共産党周南市議会議員団 様

日付	得意先	担当	伝票番号
2022/11/28	009403	05	110310

下記のとおり請求申し上げます。登録番号 T8250001010024

商品名	数量	単位	単価	金額
議会だより(魚永・渡辺・中村)	30,000	枚		360,000
備考 各10000枚			合計	360,000
			消費税10%	36,000
			総合計	396,000

振込銀行 富田印刷株式会社(トンダインサツカブシキガイシャ)
 ・山口銀行 富田支店(当座) 0380073
 ・西京銀行 富田支店(当座) 0028471

納品書



株式会社

745-0054
周南市西松原4-2-29

本社 山 三丁目9-15
64-1717
FAX (0834) 63-8381

日本共産党周南市議会議員団 様

日付	得意先	担当	伝票番号
2022/11/28	009403	05	110310

下記のとおり納品申し上げます。登録番号 T8250001010024

商品名	数量	単位	単価	金額
議会だより(魚永・渡辺・中村)	30,000	枚		360,000
備考 各10000枚			合計	360,000
			消費税10%	36,000
			総合計	396,000

ご利用明細



毎度、山口銀行をご利用いただきありがとうございます。
 ただいまお取引いただきました明細は下記のとおりでございます。

シキガイシャ)
0073
8471

お取扱日	お取引内容		
04-12-02	お支払 IC		
	お取引金額		
	¥396,000		
コード	時刻		
	17:55		
(ご案内) 取引通番	手数料	おつり	
0451	¥110		
3			
トントインサツ(カ 様へ			
ご依頼人			
シユウナンシキ カイ ニホンキョウサントウ 様			

貼

付

欄

領収書
No.

④

領 収 証

No. _____

日本共産党 周南市議団 様 ④

金額							
		¥	1	6	0	0	

但 ラシ代金
R4年 12月 5日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	〒745-0612 周南市大字呼坂1100-117
消費税額(%)	毎日新聞勝間販売所
税抜金額	TEL0833-91-1969 FAX0833-91-1979
消費税額(%)	登録番号 XXXXXXXXXX

GR1521

【2020年度】

小学校普通教室にエアコン

小学校普通教室への空調設備整備事業に7億7917万円が計上されました。

公共交通の充実へタクシーの活用

公共交通ネットワーク形成事業の中に新規事業として、高齢者などの移動を支える効果的な施策の検討を行うため、タクシーの活用など生活交通の確保に向けた検証を行う予算が盛り込まれました。

ロタウイルスワクチン接種の追加

予防接種事業の中で、ロタウイルスワクチンの予防接種を追加し、風しんワクチンの予防接種も引き続き助成する予算が計上されています。

【2021年度】

子ども医療費助成事業

2021年10月から小学生の世帯に係る所得制限を撤廃し、小学生までの医療費を完全無料化。日本共産党市議団は、引き続き中学生の世帯に係る所得制限撤廃と高校生までの医療費無料化をめざして取り組みます。

高齢者バス・タクシー運賃助成事業

2021年、10月からスタート。申請者に運賃助成券を交付。対象者は75歳以上の高齢者と65歳以上74歳以下で自動車運転免許証を有しない高齢者。みなさんの声を聞いて更に使いやすい制度になるよう取り組んでいきます。

法定外公共物管理事業（赤線・青線）

地域が実施する法定外公共物の管理に対して、補修のための原材料の支給や維持工事費用の一部を助成。原材料では普通支給が10万円から

20万円に引き上げ。災害による支給は30万円から40万円に拡充。新たに工事費については工事費の2分の1（限度額50万円）が支給されることになりました。

防犯灯設置費補助事業

自治会等が設置するLED防犯灯の更新等に係る補助事業。新年度から防犯灯柱の間隔を40メートル以上開けることを廃止。器具全体の費用を6,000円から2万円に引き上げ、LEDを移設する工事費を17,000円補助、専用柱の撤去費用を2万円補助、大津島への工事でフェリー代5,000円を補助が実現しました。

国民健康保険特別会計 国民健康保険料

保険料率は山口県が示すものより低い設定で、基金を活用し保険料を引き下げています。一人当たり1,930円の引き下げとなっています。

学校業務支援員配置事業

教員が子どもと向き合う時間を十分に確保し、教員が業務に専念できるよう支援員を小中学校に配置する事業。増員体制（学校業務支援員を48人）を確保します。

市営住宅入居基準の緩和

市営住宅の入居基準の緩和。単身世帯の入居基準が60歳から18歳になります。

陸橋などの維持補修事業の前進

橋梁長寿命化推進事業では福川駅陸橋など市道ではなかった橋を市道編入し、国の補助を受け、適切な維持補修ができるようにしました。

新南陽総合支所の工期短縮

新南陽総合支所整備のスケジュール見直しを求め、工事期間を2年短縮させました。



佐田副市長に要請書を提出する党市議団（右から渡辺、魚永、中村）

保育士さんから コロナ関連給付金を要望し実現の相談受け

コロナ感染拡大のため、2020年3月から5月の学校臨時休校中、国・県の要請でサービスを提供し続けていた保育園などには、職員に対し、5万円の応援給付金が県から支給されていました。しかし、小規模事業者や認可外保育所は

対象外。「同じ仕事をしているのになぜ」との保育士さんから党市議団に相談がありました。党市議団は「市独自に対象外の施設にも応援給付金を支給すべき」と市に要請書を提出。実現することができました。

住民の暮らしを守るためにいつも全力

日本共産党 周南市議団 議会だより

【発行】 日本共産党周南市議会議員団
周南市西松原4-2-29
日本共産党周南市委員会内
Tel. 0834-31-5487 Fax 0834-31-5392



2022年度予算で日本共産党市議団の質問・提案で多くの施策が前進

2022年度の予算や施策、事業計画の中には、日本共産党市議団が“市民の声”として提案してきたことが実現したもの、また、その内容が活かされているものが多数あります。ご紹介します。

国保料 子どもの均等割り半額に

日本共産党市議団は「子どもの均等割は廃止すべき」と求めてきましたが、今年度から国の制度として未就学児の均等割を2分の1減額することになりました。引き続き、対象年齢の拡大と均等割そのものの廃止をめざして取り組みます。

国保料 1人約7600円減額に

国民健康保険制度が都道府県単位化されて5年目になりますが、周南市は基金を活用し、保険料率を山口県が示す標準保険料率より低く設定し、保険料を引き下げています。今年度は一人当たり7599円の減額となっています。

通学路安全対策事業の予算を大幅に増額

日本共産党市議団は市民からの要望があった通学路の安全対策を求めるとともに、「市内の通学路全体の調査、改善をすべき」と求めてきました。

通学路安全対策事業費の当初予算額は前年度1千500万円から新年度は1億1千900万円に大幅な増額となりました。市は、今後5年間で集中的な取組を進める方針も示しています。

空き家対策事業の拡充

一般質問で空き家対策の拡充を要望。新年度

から危険空き家の解体に対する補助と関係団体と連携した空き家の流通促進のための予算が計上されました。

学校図書館活用推進事業の拡充

学校図書館司書の勤務時間を元の7時間に戻すなど、児童生徒の読書活動の促進や学習支援の体制を拡充。

農村地域防災減災事業の促進

危険ため池への対応を求め、新年度、ため池ハザードマップの作成や利用しないため池の廃止工事等防災減災対策が進むことになりました。

「八代～須々万」のコミバス実現

地元住民の要望を受け、「八代から須々万へのコミュニティバス運行を」と提案し、実現しました。

福川駅歩道橋の補修開始

福川駅に架かる歩道橋補修のための調査委託料に1千万円の予算が付きました。

新南陽駅前の街路灯整備

新南陽駅前街路灯整備工事のための予算に1千万円が付きました。

2020、2021年度予算関連の成果は4ページに掲載



1 新型コロナウイルス感染症対策について

保育園での感染症対策について

魚永 乳幼児が新型コロナウイルス感染症と同時にRSウイルス感染症や手足口病など別の感染症を併発すると、症状が重くなったり、長引いたりするおそれがあると言われている。保育所での感染拡大防止対策はどのように行われているか。

市長 保育所における感染症対策は、抵抗力が弱く、身体の機能が未熟である乳幼児の特性等を踏まえ、感染症に対する正しい知識や情報に基づき、適切に対応することが求められる。本市では公立私立全ての保育所等の保育士が保健衛生に関する研修を受講し、感染症に対する知識の習得に努めるとともに、保育所における感染症対策ガイドラインなどの国の通知等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症をはじめ、RSウイルス感染症や手足口病などの感染症に対し、最大限の拡大防止対策に取り組んでいる。保護者に対しても、季節ごとに注意すべき感染症について周知し、症状や対応方法を伝えることで、家庭での感染予防や病気の早期発見を行うなどの対応を行っている。

公立病院経営強化プランについて

魚永 これまでの新型コロナウイルス感染症への対応の経験からも、地域医療構想が進められようとしている高度急性期・急性期病床の削減はすべきではないし、国は公立病院の再編・統合の対象リストを撤回すべきと考える。このことを今後策定する公立病院経営強化プランに明記することが必要と考えるがどうか。

市長 令和元年9月、厚生労働省により、全国424の公的病院が統廃合を含めた再編の検討を要請されるなど、公立病院を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。そうした中、このたびの新型コロナウイルス感染症への対応において、公立病院は中核的な役割を果たしており、感染拡大時に公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識されることとなった。

新南陽市民病院においても、入院患者の受入れをはじめ、発熱外来の設置やワクチン接種等で公立病院として果たすべき役割をしっかりと

担ってきた。

今年3月には、総務省より、持続可能な地域医療体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインにて、感染症への対応の視点を含めた公立病院経営強化プランの策定が示された。このガイドラインに基づき、アフターコロナを見据えながら令和5年度の策定を目指し、検討を進めていきたい。

2 個人情報保護法の改定によって求められている個人情報保護条例の改廃について

魚永 国が進めるデジタル改革の下で改定された個人情報保護法は、個人情報の保護ではなく、経済成長のために個人情報の利活用を促進することを目的としたものとなっている。国は個人情報の利活用を促進する上で障害となる地方自治体の個人情報保護条例を改廃するよう求めているが、周南市個人情報保護条例は廃止せずに残すべきではないか。

市長 改正個人情報保護法の規定は、全ての地方公共団体に適用される標準的な規律であることから、条例による市独自の運用はできないものと考えている。個人情報保護条例は廃止することになるが、現行の個人情報保護条例で保護されている個人の権利利益の水準が維持されるよう配慮した上で、法の趣旨や目的に照らして関係条例の整備を行っていく。

3 周南公立大学について

市の評価委員会による業務実績評価の方法について

魚永 本年7月15日に開かれた周南市公立大学法人評価委員会で、公立大学法人の業務実績評価の方法が協議され、基本的な考え方として、「評価は、法人の自己点検・評価に基づいて行うことを基本とする」ことが決定された。公立大学法人が作成した自己点検・自己評価に基づいて評価を行うことは、審査の効率性や評価委員の負担を考慮してのことと考えるが、客観性が担保されるのか、また、公立大学法人の自己点検・自己評価以上に踏み込んだ評価がなされるのか、市の見解を問う。

市長 本市の評価委員は、国公立大学の学長経験者、企業経営者、公認会計士、ジャーナリス

トの方で構成されており、それぞれの専門的知見を生かした評価をしていただくとともに、大学関係者では気づき得ない新たな観点からのご意見をいただけるものと考えている。

大学を生かしたまちづくりについて

魚永 本市は徳山大学の公立化を進める際に、大学を生かしたまちづくりの3つの方向性として「大学を地域の成長エンジンとした地方創生」、「地域人材循環構造の確立」、「若者によるまちの賑わいの創出」を示していた。その進捗状況については、周南市公立大学法人評価委員会の評価にとどめず、市としての見解を、市民と議会に示す機会をつくることを提案するがどうか。

市長 大学を生かしたまちづくりの方向性の進捗状況については、大学を生かしたまちづくりを掲げた中期目標に基づく中期計画・年度計画の業務実績評価を議会へ報告することで示すことができることを認識している。また、次期中期目標を定めるに当たっては、議会の議決が必要となるので、ご審議いただく際に進捗状況に対する本市の考え方などを説明しながら、新たな中期目標をお示ししたいと考えている。

4 市職員の不注意による公用車の事故防止について

魚永 運転手及び同乗者に注意喚起するため、運転席側のドアに「乗る前に周囲の安全確認を」、助手席側のドアに「乗る前に安全確認、誘導」の表示をすることを提案するがどうか。

市長 市職員の不注意による公用車の事故防止について、同乗者がいる場合、同乗者は発進前に車外に出て周囲の確認を行い、運転の誘導、補助を必ず行うことを特に徹底するよう指導している。提案された注意喚起の表示については、有効な手法の一つであると考えられることから、本市で実施可能な方法を検討する。

5 中学校における部活動の地域移行について

魚永 スポーツ庁と文化庁の検討会議は、いずれも2025年度末までを目途に公立中学校の

休日の部活動を地域移行することを提言し、さらに、将来的には平日の部活動についても、できることから取り組むことが考えられると提言している。このことは、中学校における部活動が学校から切り離され、中学校から部活動がなくなっていくのではないかと懸念するがどうか。

また、中学校における部活動の地域移行については、地域の様々な団体とPTAなど学校関係者との協議会をつくって、協議を重ねていくことが必要と考えるがどうか。

教育長 提言では、中学校学習指導要領の次期改定において、部活動に係る規定を抜本的に見直すことも検討する必要があるということも示されており、将来的に地域移行が終了した際には、これまで学校教育の一環として行われてきた部活動という位置づけが見直されると考えている。

協議会をつくることについて、現在、庁内関係各課や関係団体などで構成する協議会を設置し、地域移行に向けた協議に取り組めるよう準備を進めている。小中学校関係者や児童生徒、保護者などに部活動の地域移行についての意見をいただくことも検討しているところである。

6 小学校高学年における教科担任制の導入について

魚永 本格的な導入のためには、教員の増員と打合せの時間の確保が必要と考えるが、教員の働き方改革の観点から、課題はないか。

教育長 教科担任制の実施に際して、時数調整や日課調整といった課題はあるが、教頭や担任を持っていない教員が専科指導を担当することによって、学級担任が授業を担当する時間が減り、授業交換を実施する場合も含めて授業準備の効率化にもつながっている。引き続き教科担任制を円滑に実施し、その普及を図るためには専科教員の確保が求められることから、専科教員の更なる配置などについて県教育委員会に要望していきたいと考えている。



一般質問する魚永市議

中村ふみこ 議会報告



2022年11月
臨時議会

2025年4月使用開始の新火葬場有料化計画 他会派と共同し無料化の「意見書」「決議」提出も不採択

周南市、下松市、光市で構成する周南地区衛生施設組合は、老朽化した御屋敷山斎場（下松市）にかわる新斎場を建設し、2025年4月に供用開始の予定です。新斎場では12歳以上は1万円の使用料を徴収する計画です。新斎場は御屋敷山斎場と同じく、対象は旧徳山市、旧熊毛町の住民です。周南市では旧新陽市地域と旧鹿野地域の斎場は市直営で運営しており、新斎場の使用料が有料化されると、周南市内において使用料有料の地域と無料の地域がある1市2制度となります。11月8日、9日の2日間開かれた臨時市議会で、日本共産党市議団は他会派にも呼びかけ、共同で無料化をすすめる「意見書」「決議」を議案提出しましたが、賛成少数で否決されました。

9月議会でも中村市議が追及

この問題は、先の9月定例会市議会で中村市議が追及した問題です。

「受益者負担」を容認する市に対し、中村市議は、現在、旧徳山市、旧熊毛町の住民が使用する御屋敷山斎場、新陽地域の斎場、鹿野地域の斎場すべてが無料であることをあげ、「住民にとって斎場の使用は、選択肢のない問題だからこそ無料になっている。受益者負担の原則はそぐわない」と訴えました。



9月議会で火葬許可証を入れる埋火葬許可証在中の封筒を示して質問する中村市議

ました。

その結果、周南市民の会、参輝会の2会派は賛同しましたが、志高会、公明党、未来ラボ、水月会の4会派は賛同せず、日本共産党市議団を含む13名で市議会に「新斎場における関係住民の利用料無料化を求める意見書」と「すべての斎場における周南市民の無料化を存続する決議」の2件を議員提出議案として提案しました。

賛成13、反対16で否決

日本共産党市議団を代表して賛成討論に立った中村市議は、「無料を継続することは市民の願い」だと強く訴えました（賛成討論＜要旨＞は下部に）。

しかし、記名投票の結果、賛成13、反対16で否決されました（採決状況は次ページに）。

各会派に意見書の共同提出をよびかけ

今回、臨時議会に際し、日本共産党市議団は、各会派に対し、新斎場の利用料無料継続を求める意見書を共同で提出する呼びかけをおこない

中村市議がおこなった斎場無料化継続の意見書・決議への賛成討論（要旨）

斎場は、全ての住民が必ず利用する施設であり、火葬以外に死体を葬る実質的な方法がない現状において、受益者負担の原則はそぐいません。また、全国状況を見て、有料化を検討するという事について、一部事務組合の自主性のなさに驚きを禁じ得ません。

この間、周南市議会では、一部事務組合に支出する負担金については、その多寡や支出について反対した経緯はありません。必要な経費は構成市の按分で負担金を支出していることなどから、御屋敷山斎場から新斎場への機能移転を契機としての有料化は理解できません。

周南地区衛生施設組合は、地方自治法第284条第2項の規定によって、地方公共団体とは別法人であり、地方公共団体から独立した事務を扱うことは十分承知しています。しかし、公共性の高い団体です。公衆衛生や福祉の増進を図っていただかなくてはなりません。

本市では、有料化されまると1市2制度の状況が生じることとなる、特殊な事情も抱えております。

有料化案は市民の中から出てきたものではありません。無料化を継続することは市民の願いになったものであり賛成します。

斎場利用料無料化継続を求める「意見書」「決議」への採決結果（○=賛成、×=反対）

日本共産党		周南市民の会					参輝会				志高会				公明党			未来ラボ		水月会								
中村	魚永	渡辺	小林	島津	尾崎	田中	友田	古谷	福田	長嶺	青木	細田	佐々木	福田	小林	田村	福田	吉安	金子	遠藤	江崎	小池	清水	山本	井本	篠田	岩田	藤井
富美子	智行	君枝	雄二	幸男	隆則	昭	秀明	幸男	文治	敏昭	義雄	憲司	照彦	江子	正樹	勇一	健吾	新太	優子	伸一	加代子	一正	芳将	真吾	義朗	裕二	淳司	康弘
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

福川の玄関口にふさわしい歩道橋の改修を

市道編入が終了し、穴修繕で一步前進

中村市議は、2020年6月議会一般質問で、福川駅の歩道橋の問題を取り上げ、老朽化が進み住民から不安の声が出されているとして、早急な改修を訴えました。

市長は、「市民のみなさんの安心・安全を確保する観点から、今後JR等と協議を行い、市道への編入、そして改修等による適切な維持管理について検討を進めていきたい」と答弁しました。

その後、歩道橋の市道への編入の作業が終わり、

新陽総合支所整備 工期を2年短縮し2024年度に完成予定

2020年9月市議会で中村市議は、新陽総合支所整備事業について質問。「完成年度が令和8年度となっているが、なぜ、こんなに時間がかかるのか。基本構想時は建設期間が9カ月くらいであったが、今度の計画は15カ月だ。標準的な工期というのであれば、基本構想時も今回も同じと思うが」と追及し、工期を2年短縮することになりました。



庁舎=約900㎡（1F約600㎡ 2F約300㎡） 防災倉庫：約100㎡ ③に来庁舎用駐車場28台 ①臨時駐車場38台、公用車駐車場6台

オレンジ色の市道は全長180メートル、幅員12メートルで令和4～5年度の2か年で整備します。令和4年度は北側110メートルを整備します。庁舎建設は令和5年度～6年度にかけ13カ月を予定しています。

穴が開いていた部分の修繕が行われました。引き続き、改修工事を早く進めるよう要望しています。

夜市川以西の大雨時の冠水問題 中開作浸水対策事業を急がせます

夜市川以西は、地域住民は長年、大雨の時は冠水で悩まされています。このことから中開作浸水対策事業を進めています。

全体事業スケジュールは、市道中開作線の整備を今年度から令和10年度までとしています。全長570メートルで、令和4年度は400メートルを整備する計画です。最終的な雨水ポンプ場整備は令和10年度～15年度までの6年間の予定です。市民の安心・安全を確保するために、工期を短縮するよう求めていきます。

お母さんの声が届きました 法定給付のない筋ジスの子どもに市独自の給付を 今年6月議会の一般質問

3歳1カ月の福山型筋ジストロフィーのA君は、歩けない、意思表示をしない、おむつを取るトレーニングができません。この病気にはおむつの法定給付がありません。市独自の制度として給付できないかと質しました。市長は前向きに検討すると答弁しました。新年度からと言うのではなく、なるべく早く実施すべきと重ねて要望しました。

前回市議選以降の中村市議の市議会一般質問の主な内容

定例議会	主な質問
2020年6月議会	特別定額給付金事業は市民の立場でできたか
同 9月議会	なぜ新陽総合支所建設の工期は長いのか
同 12月議会	市の財政負担のない徳山大学公立化は現実的か
2021年3月議会	徳山大学公立化の一番の問題は財政だ
同 6月議会	徳山大学公立化、是非の判断の根拠は
同 9月議会	家族介護などをするヤングケアラーの実態調査を
同 12月議会	新陽市民病院の会計待ち時間の短縮を
2022年3月議会	市民生活や自治体におけるジェンダー平等をどうすすめるか
同 6月議会	法定給付のない筋ジスの子どもに紙おむつの支給を
同 9月議会	誰もが使用する火葬場、受益者負担の考えはそぐわない

渡辺君枝の議会報告



議員になって3年。市民のみなさまに支えられて、一つ一つ取り組んできました。声をかけてもらった方にお会いしてお話をお聞きし、問題解決のために努めることで私は力をもらっています。憲法を変えて、平和、民主主義が壊されようとしている今、力を合わせて未来を担う子どもたち・若者に憲法の生きる周南市を手渡ししましょう。憲法12条は、「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない」としています。国民が権力を縛るための憲法。ご一緒に不断の努力を続けたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

当選後、最初の議会で質問！

どこに住んでいても安心して暮らせる公共交通を

バス・タクシー運賃助成、コミバス「友愛号」、岩徳線など

私は、議員になる前、三丘地域の方から、「ここで生活していると、光市や徳山に行くバスはあっても、熊毛総合支所方面に行くバスがなくて困る。選挙の時は、高速バスに乗って本庁まで行き期日前投票をしている。近所の人もそうしている人が多い」とお聞きして驚きました。

候補者になった時から「バッチをもらったら、一番にこの問題に取り組もう」と思いました。

当選して初めて臨んだ一般質問で訴えました。

2021年10月から、高齢者バス・タクシー運賃助成事業がスタートしました。



一般質問する渡辺君枝市議

八代地区の方から「私たちは買物も、通院も須々方に行くことが多い。須々方に行けるバスが欲しい」とお聞きして、議会でとり上げました。須々方方面へのコミュニティバスが実現しました。

利用しやすい岩徳線を守り、発展させるために、朝7時台の列車の要望実現と引替になくされた朝10時台の列車の復活や、ダイヤ改正、バリアフリー化、鉄道の保全などを訴え続けています。これまでJR広島支社での交渉に参加しましたし、国に対しても要望を上げてきました。今後も岩徳線沿線の自治体とも協力しながら、どこに住んでいても安心して暮らせるよう、ご一緒に声をあげましょう。



八代支所に掲示してあるコミュニティバス「友愛号」の看板。行き先や運行曜日、料金などが記載されています。

農業を支えて安心・安全な食料の確保を

「続けられない」農業政策なんておかしい！

政府の減反政策に協力して、米から転作に応じた圃場を今後5年間、水張りしなければ、交付金対象から除外されます。収穫するだけの年の多年生牧草の助成金は大幅に引き下げるといふ農水省の方針。「直接何も聞いていないが、そんなことになったらもう農業は続けられない」と農家の方たちから声が上がっています。

転作に応じた圃場を、また水田に戻すことはもうできません。排水路も泥が溜まっているし、畦や水路も壊れています。重機を入れて直すしかありません。そんなお金もないから、もう農業をやめるしかありません。牧草を植えているところは、農業ができなくなった方の田んぼを預かって牧草を植えています。多年生牧草の助成金が大幅に引き下げられたら、預かった田んぼを持ち主に返すしかありませんが、農業ができないから預けたのだから、返してもどうにもなりません。

政府が水田を畑にしたら補助金を出すと云ったから、大豆を作り始めたのです。その補助金がなくなると、お話を聞いた方の場合で試算すると157万円の減収になります。

食料自給率37%の日本。継続できる農業を

支え発展させることが未来を担う子どもたちへの責務と考えます。

他会派にも呼びかけ市議会の総意として市長に要請

ウンカ被害支援金が実現

2020年に発生したトビイロウンカ被害に支援をと他会派にも呼びかけて、周南市議会の総意として、市長に支援を要請しました。その結果、「周南市ウンカ被害対策稲作継続支援金」が実現しました。



後日、「本当は写真など撮ってもらいたくない。何か月も苦労して育てた稲が、収穫直前になって、一晩でこんなになって」と話された被害を受けた田んぼ

鹿野総合支所の建替えに住民の願いの反映を

老朽化した鹿野総合支所建替えに関連して、山口銀行鹿野支店がどうなるか、地域の事業者の方々は資金繰りが相談できる支店が無くなるのは死活問題との声があります。

現総合支所の跡地利用、観光の拠点づくりと交流人口の増加など、鹿野のみなさんの熱い思いを何とか届けたいと思っています。「山野草のエキ」「天空のカフェ」「オープンガーデン」他、訪れる度に自然に包まれた心安らぐ時間を感じています。

本年3月に策定された、鹿野地域観光振興プランの取組が、地域の方々の要望が反映され、住民が主人公の立場が貫かれるよう、今後も鹿野のみなさんと力を合わせていきたいと考えています。

投票率の向上で住民の声を政治に届けよう

支所での期日前投票が実現

選挙の度に半数以上の有権者が投票に行かない。政策を訴えても「どうせ変わらない。私の1票など関係ない」と思っている有権者が多いのではないかと。「タクシー使ってまで行かない」「施設に入所していると選挙の話などでない」等々。

一般質問でとり上げては、投票しやすい制度の実現を訴えてきました。

今年2月の県知事選挙から、市内15か所の支所でも期日前投票ができるようになりました。移動投票所の実現も目指します。選挙管理委員会は、病院や施設で投票できる場所を増やす努力を約束しています。